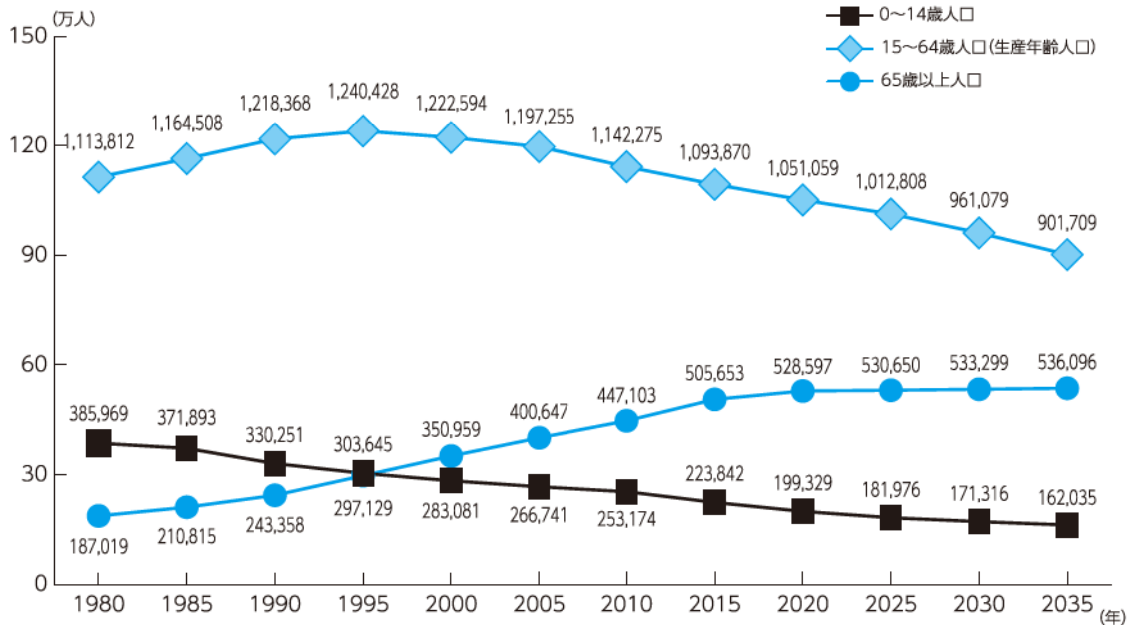


◆ 第一章 人口・世帯 ◆

①年齢3区分別人口の推移(三重県)



三重県の2011年総人口は1,848,107人で、内女性割合は約51%、男性割合は約49%。今後も総人口に占める女性割合は高いと想定されています。

また、三重県の15~64歳人口(生産年齢人口)は1995年をピークに減少傾向にあります。

年代別では65歳以上人口が年々増加傾向にあり、三重県における高齢者割合は高まっています。

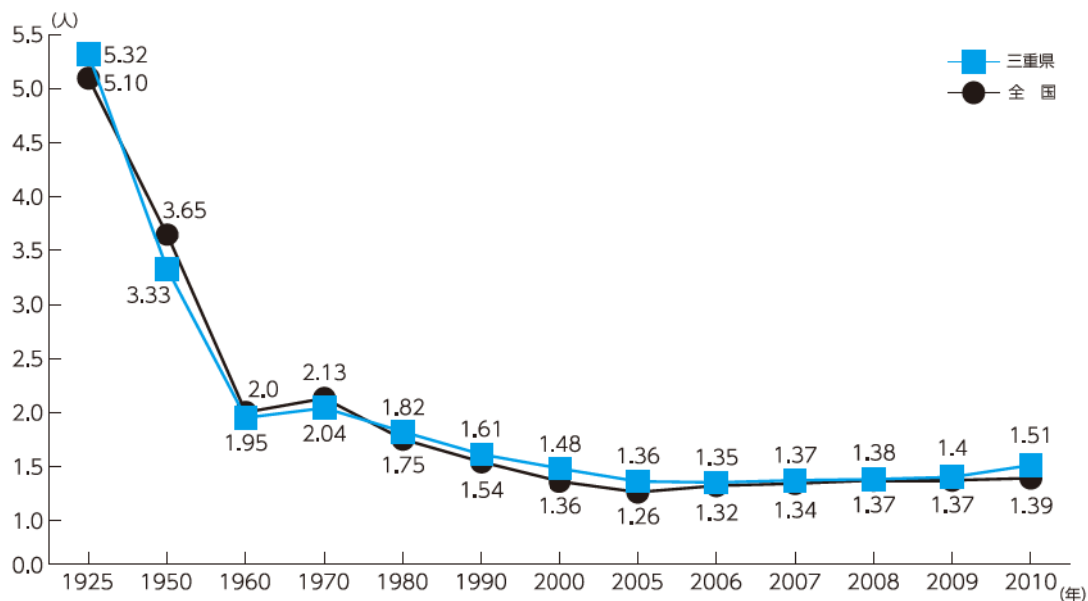
②平均寿命の推移(三重県)

男女とも平均寿命が高まっている

西暦(年)	女性	男性
1965	73.32歳	68.61歳
1975	76.84歳	71.75歳
1985	80.61歳	74.87歳
1995	83.02歳	76.76歳
2005	85.58歳	78.90歳

2005年の平均寿命は女性(85.58歳)全国34位、男性(78.90歳)全国20位です。男女ともに年々平均寿命が高くなっています。

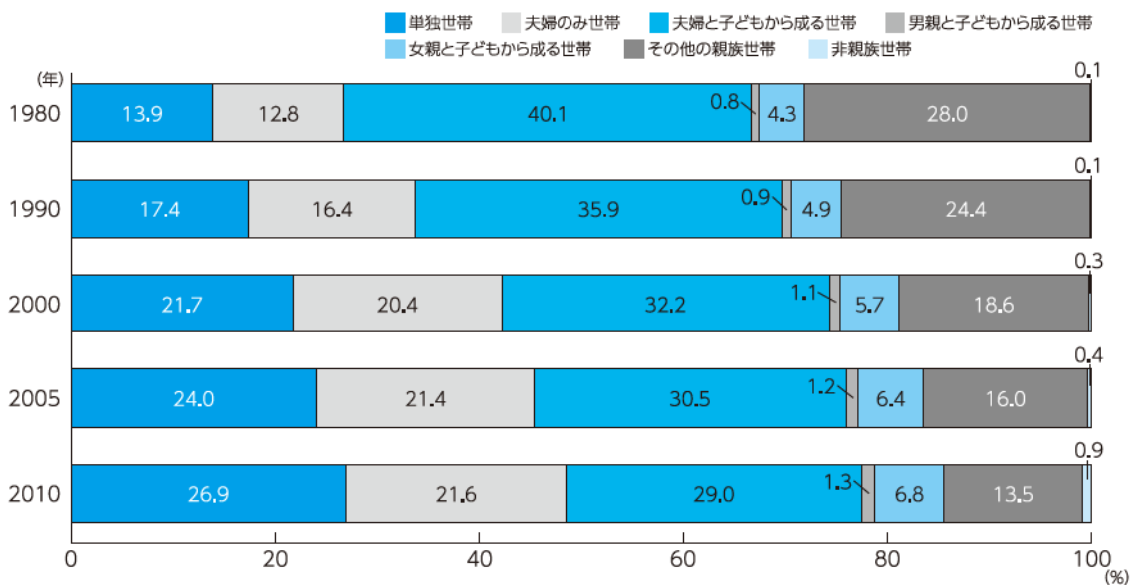
③女性一人当たりの平均出生児数(合計特殊出生率)の推移(三重県・全国)



三重県の女性一人当たりの出生児数は、1.51人(2010年)で、現在の日本で同一の人口規模を維持する数値(人口置換水準)2.07を下回る状況が続いており、急速に少子化が進行しています。世界全体の合計特殊出生率は2.52であり、先進国では1.66ですが、その中でも日本は最も低い国の一つです。

④家族類型別世帯構成割合の推移(三重県)

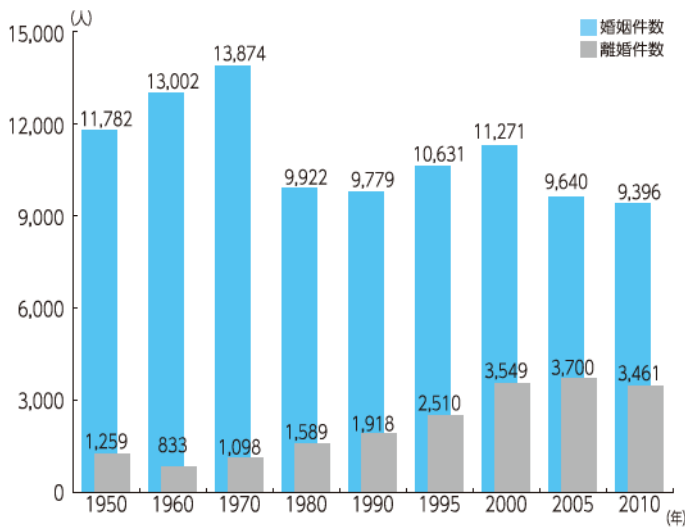
単独世帯、夫婦のみ世帯、ひとり親と子どもの世帯の増加が続いている



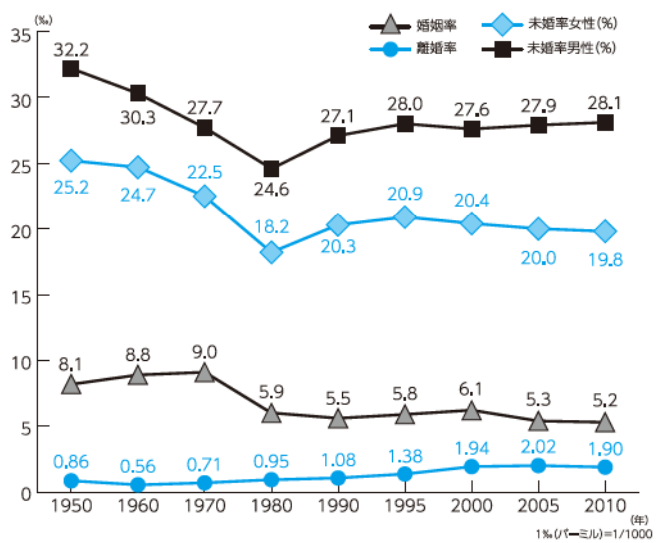
「単独世帯」「夫婦のみ世帯」「ひとり親と子どもの世帯」の増加が続いており、2010年には「単独世帯」「夫婦のみ世帯」で全世帯の約5割を占めています。

⑤ 婚姻・離婚件数の推移(三重県)

婚姻率は下降傾向、離婚率は上昇傾向にある

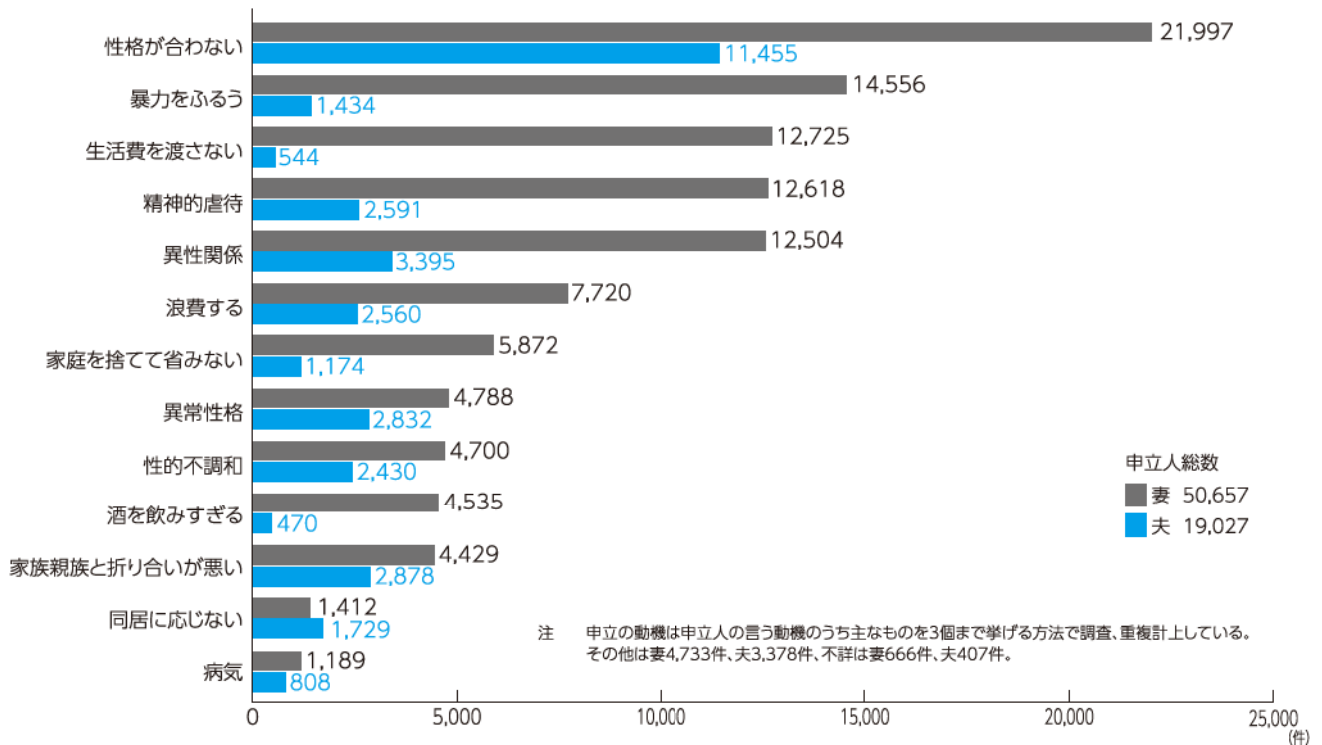


⑥ 婚姻・離婚・未婚率の推移(三重県)



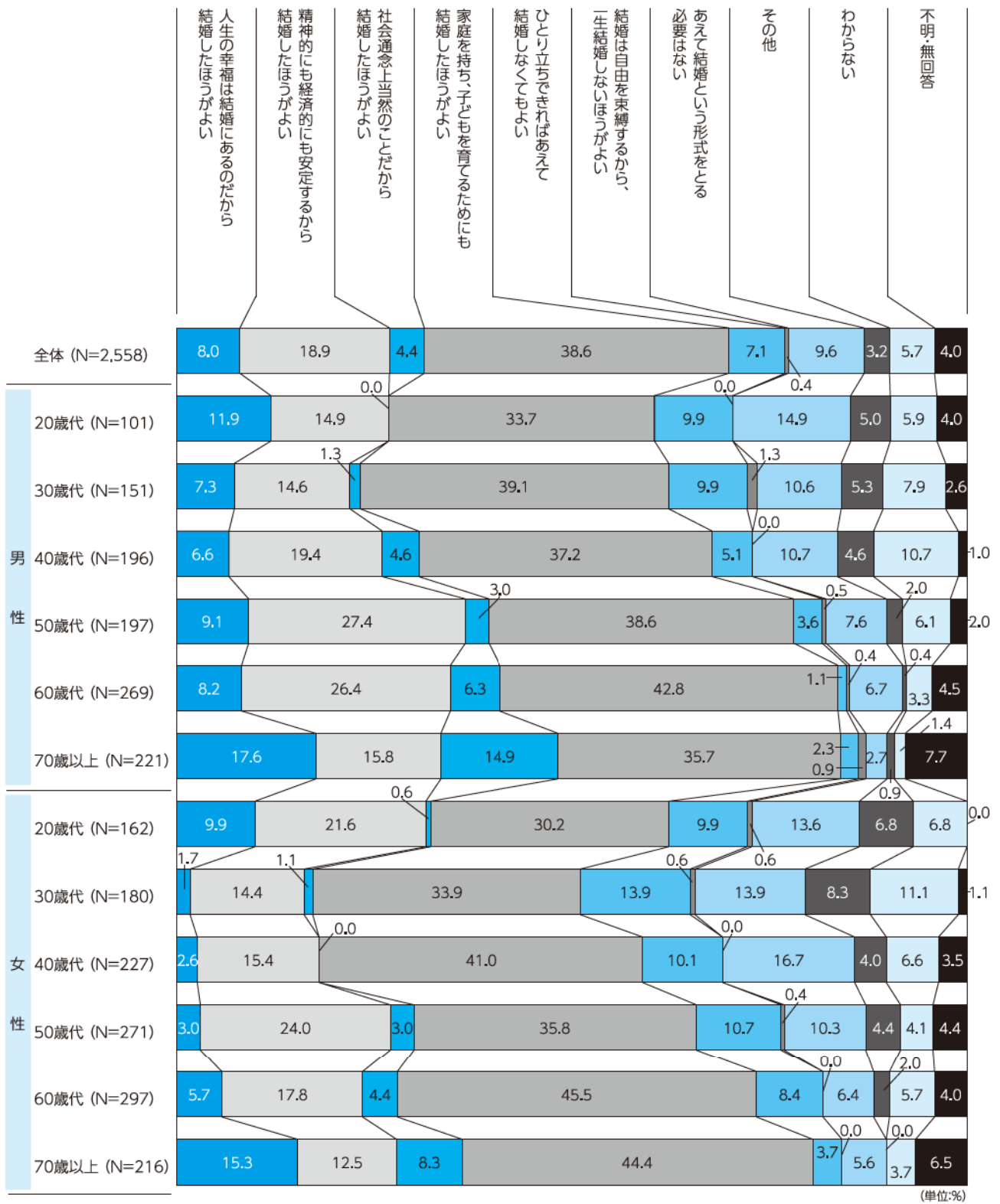
三重県では婚姻率が1970年をピークに以降は下降傾向にあります。また、離婚率、離婚件数は上昇傾向にあります。未婚率は男性の方が高い状況です。

⑦ 申立ての動機別、申立人別婚姻関係事件数(全国、2010年)



離婚の申立人のうち7割が女性で、申立理由は多岐にわたっています。申立動機の第1位は男女ともに「性格が合わない」ですが、女性は「暴力をふるう」「生活費を渡さない」「精神的虐待」「異性関係」がいずれも1万件以上にのぼっています。

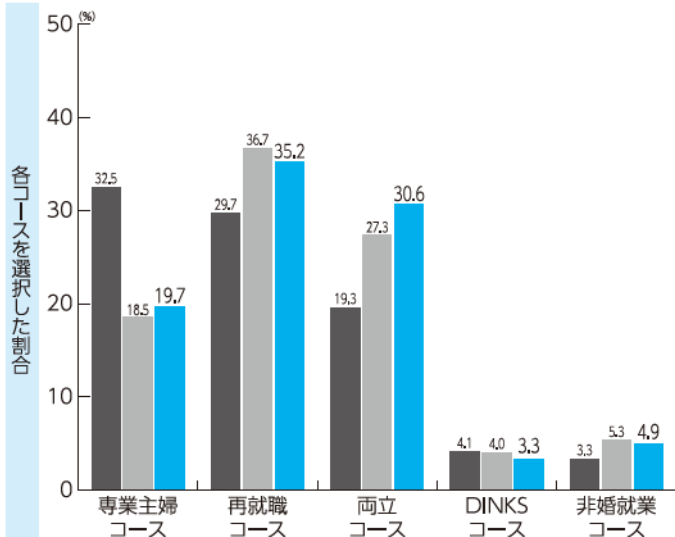
⑧性、年代別にみた結婚についての考え方(三重県、2009年)



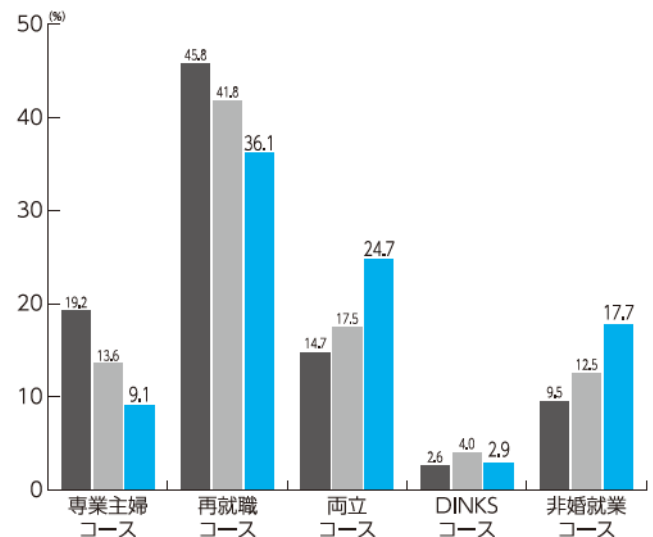
「家庭を持ち、子どもを育てるために結婚したほうがよい」と回答した人が全体的に多い状況です。また、20～40歳代では、「あえて結婚という形式をとる必要はない」と考える人が多く、男女ともに年齢が高くなるほど、「社会通念上当然のことだから結婚したほうがよい」と考える人の割合が高くなっています。

⑨未婚女性の理想・予定のライフコース、および未婚男性が望む女性のライフコース(全国)

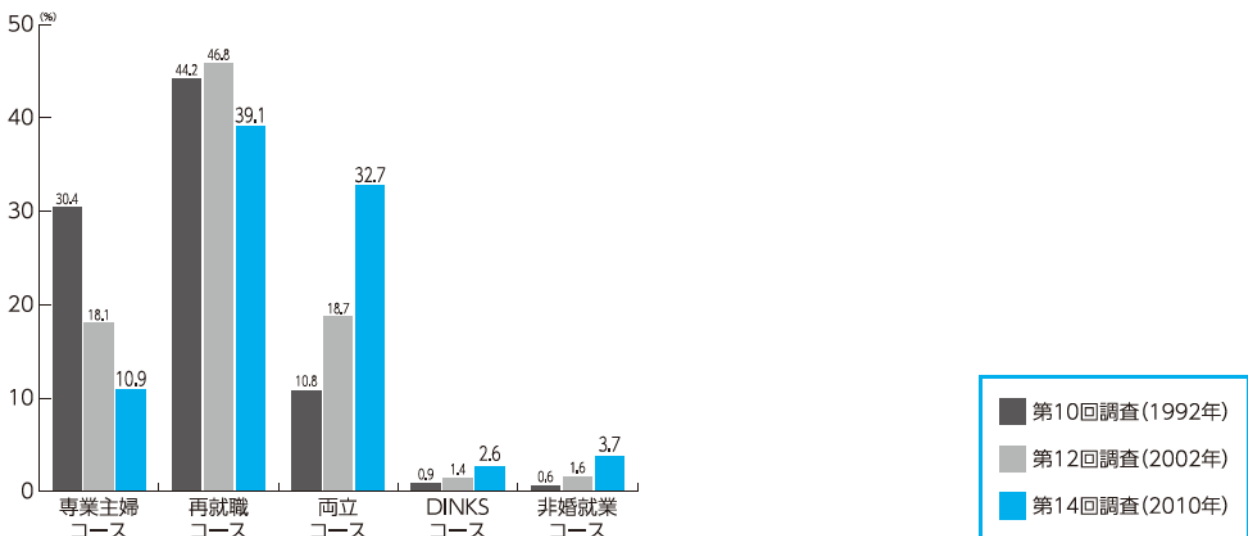
女性の理想ライフコース



女性の予定ライフコース



男性がパートナーに望むライフコース



※それぞれのライフコースは「専業主婦コース」結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない。「再就職コース」結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ。「両立コース」結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける。「DINKSコース」結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける。「非婚就業コース」結婚せず、仕事を一生続ける。として名づけている。

女性のライフコースとして、女性の理想・男性の希望ともに「専業主婦」志向が減少し、「両立」志向が増加傾向にあります。予定のライフコースでは、「再就職コース」の割合が全調査において最も高いが、「再就職コース」および「専業主婦コース」は減少傾向にあり、「両立コース」および「非婚就業コース」は増加傾向にあります。